

令和2年7月2日
全学内部質保証委員会決定
令和3年5月19日
全学教育内部質保証委員会一部改正

総合科学技術研究科 情報学専攻 教育の質保証ガイドライン

総合科学技術研究科情報学専攻では、当該専攻での教育プログラムにもとづいて修得した知識、技能ならびに取り組む姿勢の評価を以下の通り行います。また、教育プログラムの内容、授業の方法が適切に実行されているかを以下の通り検証します。

1. 評価の内容と方法

(内容)

講義科目では、知識とその応用力を主として評価します。

演習科目では、知識とその応用力を評価します。さらに、技能、取り組む姿勢、コミュニケーション能力についても評価します。「情報学演習Ⅰ」および「情報学演習Ⅱ」では、これらに加えて、日頃のゼミにおける研究活動への取り組む姿勢についても評価します。

「情報学研究Ⅰ」および「情報学研究Ⅱ」では、研究遂行能力——すなわち、該当研究分野に関する情報収集能力、分析能力、課題設定能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力、研究遂行のためのマネジメント能力等——を評価します。

(方法)

知識とその応用力については、筆記試験、報告書等によって評価します。

技能、取り組む姿勢、コミュニケーション能力については、作成したソフトウェア、報告書、外部資格試験の点数、活動の様子、等によって評価します。

研究遂行能力については、構想発表会、中間発表会、対外発表実績、最終審査会および修士論文によって、当該研究分野における世の中の動向、研究の位置付け、研究の目的、研究の方法、結果の分析と考察、等について評価します。

2. 評価の基準

筆記試験を行える場合は、試験の点数を達成度とします。筆記試験を行えない場合は、達成度評価のための評価方法を用いて評価します。評価方法については可能な限り公表します。

科目の成績は、「秀」「優」「良」「可」「不可」で表記され、「秀」「優」「良」「可」を合格とし、履修単位として認めます(秀:100~90点、優:90点未満~80点、良:80点未満~70点、可:70点未満~60点、不可:60点未満)。

「不可」となった科目については不合格とします。

授業科目によっては、「合」及び「否」の評語で表す場合があり、「合」を合格とし、「否」を不合格とします。

成績は、 $GP(\text{各科目のグレードポイント}) = (\text{成績評点(数字)} - 55) \div 10$
(但し、0.5未満の場合は0.0とする。100点満点)に換算し、 $GPA = (\sum(GP \times \text{当該科目の単位数}) \div \text{履修総単位数})$ を算出して、学生に提示します。

なお、成績評価が「合」「否」「認定」の科目はGP算定の対象としません。また、カリキュラム上の卒業要件でない科目もGP算定の対象としません。

3. 教育プログラムの点検と評価

総合科学技術研究科情報学専攻の教育プログラムについての点検と評価は、情報学専攻内部質保証委員会(情報学部内部質保証委員会と兼ねる)が実施します。当該委員会は、情報学専攻の3プログラムを担当する委員で構成されます。

教育プログラムの点検と評価として、年に一度科目GPAの平均値、授業アンケート、IR調査の結果等の分析による点検、その点検結果にもとづく評価を実施し、教育内容および教育方法の改善案を作成し改善を実施します。また、その点検・評価の実施状況については、総合科学技術研究科を通して全学教育内部質保証委員会に報告を行い、教育内容および教育方法の改善のPDCAサイクルの確認等を行います。

4. その他オリジナル項目

情報学専攻では、在籍期間中に少なくとも1度の対外発表を行うことを強く推奨しています。対外発表によって当該研究分野の専門家の意見を聴き、それを

ふまえてさらによい成果を挙げることを目指すものです。